

# VI 令和4年度（2022年度） 学力向上推進計画

## 1 目標

北丘っ子一人一人に「生きる力」の基礎となる資質・能力を育む。

## 2 基本方針

- (1) 児童の実態等をふまえた具体的な目標を設定し、学力向上推進のための計画を立てる。
- (2) 県学力向上推進5カ年プラン・プロジェクトII「学びの質を高める授業改善・学校改善」や町のかすりっ子「学ぶ」プロジェクトにもとづいた推進計画を作成する。
- (3) 学力向上の推進にあたっては、学力向上推進部を中心として、全職員の共通理解のもと、連携を密にした取り組みを行う。
- (4) 学校、家庭、地域が相互に連携し、具体的で日常的な取り組みを行う。
- (5) 授業力向上のために、「一人一授業」を行う。（算数の教科を実施する）  
 ※本校の目指す授業像「他者と関わりながら、課題の解決に向かい『問い』が生まれる授業」に沿った授業を計画し、実践する。

## 3 取り組みの重点

～学力向上の取り組みの重点を「学びの質を高める授業改善・学校改善」とする～

学力向上の取り組みの重点を「学びの質を高める授業改善・学校改善」におき、学びの質を高める系統的・継続的な授業改善と学校改善を目指す。また、その実現に向けた取組を「3つの視点」と「5つの方策」から明確にし、必要とされる資質・能力（知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等）を育む。

- (1) 保・幼・小と小・中が連携し、学びの質を高める授業改善を推進する。

（授業改善の方向を示す3つのポイント）

- ・各教科等で学ぶ意義・身に付けさせたい力の明確化（何ができるようになるのか）
- ・各教科等の指導内容の吟味（何を学ぶのか）
- ・各教科等の指導方法の工夫（どのように学ぶのか）

（学校の取り組み）

- ・子供たちに必要とされる「資質・能力の3つの柱」で整理した評価計画の作成
- ・「カリキュラム・マネジメント」を生かした指導計画の作成
- ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業の実施

- (2) 「学びの質を高める授業改善・学校改善」を共通実践する。

「学力向上推進プロジェクトII～学びの質を高める授業改善・学校改善～」方策フレーム				
方策	【視点1】 自己肯定感の高まり	【視点2】 学び・育ちの実感	【視点3】 組織的な関わり	【改善ツール等】
方策1 日常化する 【質的授業改善】	<input type="checkbox"/> 児童生徒が学んだことの意義や価値を実感し、自己肯定感を高める個人内評価等の取組を日常化する <input type="checkbox"/> 生徒指導の3つのポイントを活かした授業を日常化する <input type="checkbox"/> 単元を見直しながら、資質・能力を育むための授業改善を日常化する			【授業デザイン】 <input type="checkbox"/> 「問い」の作り <input type="checkbox"/> 授業における基本事項 <input type="checkbox"/> 授業デザインMAP※ <input type="checkbox"/> 授業プランシート <input type="checkbox"/> 単元プランシート※
方策2 そろえる 【組織的共通実践】	<input type="checkbox"/> みとる視点・観点をそろえる <input type="checkbox"/> 学習の基盤となる資質・能力の育成			【共通実践項目の設定等】 <input type="checkbox"/> アセスメント調査・分析資料等 <input type="checkbox"/> 共通実践項目
方策3 支える 【発達支援】	<input type="checkbox"/> 確かな児童生徒理解 <input type="checkbox"/> 支持的な風土をつくる学習経営の充実（ガイダンスとカウンセリング） <input type="checkbox"/> 学びに向かう集団づくり			【発達支援】 <input type="checkbox"/> キャリアパスポート <input type="checkbox"/> 不登校児童生徒への支援の手引 <input type="checkbox"/> エンパワーメントデザインの考え方を生かした支援
方策4 見通す 【学校組織マネジメント】	<input type="checkbox"/> 学校課題解決に向けた組織マネジメント機能を高める <input type="checkbox"/> 学校評価と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立 <input type="checkbox"/> 授業改善・学校改善に向けた校内研究体制の充実			【学校デザイン】 <input type="checkbox"/> 学校デザインシート（調整版）※ <input type="checkbox"/> 学校改善ルーブリック <input type="checkbox"/> フォーカスシート（着点化） <input type="checkbox"/> 年間マネジメントサイクル※
方策5 つなぐ 【学校連携・地域連携】	<input type="checkbox"/> 市町村の特色を活かした施策推進による学校づくり <input type="checkbox"/> キャリア教育の視点をふまえた校種間連携強化 <input type="checkbox"/> 学校・地域・家庭の互恵的関係の構築			【連携の仕組み・制度活用】 <input type="checkbox"/> 学校運営協議会制度 <input type="checkbox"/> 地域学校協議会等 <input type="checkbox"/> 小中一貫・連携教育の推進 <input type="checkbox"/> キャリア教育の推進 <input type="checkbox"/> SDG・ESDの推進

カリキュラム・マネジメント

#### 4 学びの質を高める授業改善・学校改善 3つの視点と5つの方策

**方策1** 日常化する【質的授業改善】 ～質的授業改善の取組を日常化する～

##### めざす授業像

他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業

##### めざす子どもの姿

- 主体的に「問い」をもち、自分なりの考えをもつことができる。(「導入」「めあて」)
- 他者との交流の中で「問い」が生まれ、自分の考えを広げ深めることができる。(「展開」)
- 学びの過程を振り返る中で、新たな「問い」をもつことができる。(「まとめ」「振り返り」)

##### 〈学びの質を高める授業改善・学校改善の具体的な取り組み内容〉

県の「学力向上推進プロジェクト」、「『問い』が生まれる授業サポートガイド」、「学力向上推進5ヵ年プラン・プロジェクトⅡ」と、町の「かすりっ子学ぶプロジェクト」を踏まえた授業改善に取り組む。

(1) 児童が学んだことの意義や価値を実感し、自己肯定感を高める個人内評価等の取り組みを日常化する。

- 子どもの姿の見取りと評価を生かした指導の充実を図る。
- 日々の授業の中で、授業や単元の振り返りを行い、個人内評価の充実を図る。

##### 〈振り返りの視点例〉

- ・ 学びの変容を振り返る。
- ・ 学びの過程や結果を振り返る。
- ・ 交流を振り返る。 ※「問い」が生まれる授業サポートガイドより

(2) 生徒指導の3つのポイントを活かした授業を日常化する。

- キャリア教育の視点を踏まえた授業改善を推進し、「児童に自分で考え、計画して行動に移すことができる力」を育む。
- 生徒指導の3つのポイントを活かした授業改善を推進し、「自己決定の場を与える」「共感的な人間関係を育成する」「自己存在感を与える」活動を授業で取り入れる。

(3) 単元を見通しながら、資質・能力を育むための授業改善を日常化する。

- 単元指導計画の見直しを行い、学ぶ意義・身につけさせたい力の明確化、指導内容の吟味、指導方法の工夫を行うことで、必要とされる資質・能力を育む。(『問い』が生まれる授業サポートガイド)を活用する)
- 児童の視点による「めあて」をたて、「めあて」に正対した「まとめ」「振り返り」を行う授業を実践し、児童の主体的な学びを実現する。(「授業における基本事項」を活用する)
- 児童に「問い」が生まれるような意図的・計画的な発問を工夫する。
- 児童が考えをまとめたり表現したりする時間を確保し、学習のねらいの達成に向けた言語活動の場を設定する。
- 他者との交流を通して自分や他者の考えを吟味するなど、深い学びにつながる場を設定する。
- 全国学力・学習状況調査、沖縄県学力到達度調査、沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)等の結果を分析し、正答率の低い児童へ対応する。

##### 【数値目標】

- 全国学力学習状況調査の正答率→全国平均を上回る。
- 沖縄県学力到達度調査の正答率→県平均を上回る。
- 沖縄県学力定着状況調査(学びのたしかめ)の正答率→県平均を上回る。
- どの先生も授業をわかりやすく教えてくれる(学校評価:児童アンケート) → 9割以上
- 授業で自分の考えをまとめたり、発表したりしている(学校評価:児童アンケート) → 8割以上
- 標準学力調査の正答率→目標値を上回る。(1・2年)

## 方策2 そろえる【組織的共通実践】

### 〈組織的共通実践の具体的な取り組み内容〉

学校・家庭・地域が連携し、土台となる「学習を支える力」を育成していく。島尻地区・南風原町の「そろえる実践」を受け、本校の「そろえる実践」に基づいて、積極的に取り組んでいく。

#### (1) みとる視点・観点をそろえる

○単元一覧表を作成した教材研究を行う。単元一覧表作成の際には単元構成を行い、各授業において、どのような場面でどのように評価をするか、みとりをどのように授業改善に活かすかまで、学年で統一して行う。

○みとる観点を焦点化して評価し、授業改善を図る。毎時間の授業の落ち込みや単元の落ち込み、また諸調査等の落ち込みを、日々の授業で改善できるよう、具体的な取り組みを教材研究する。(PDCAサイクルを意識する)

○みとる視点・観点を、学年会・教科会で話し合っ決定する。

#### (2) 学習の基盤となる資質・能力の育成

##### ① 島尻地区「そろえる実践」の取り組み・・・教室環境、学習環境を整える

○学力向上月間

・月間中は各学年ごとにポスターを作成して教室に掲示し、学習規律を意識づける。

##### (i) 学習規律強化月間 (4月)

・学習規律など児童の学習に向かう力を育てる。

・4月の生活集会において、「そろえる実践」の全校児童への確認を行う。

##### (ii) 学習“やる気アップ月間” (9月)

・生活リズムの再確認 (生活点検カードの活用)

・全国学力・学習状況調査や沖縄県学力定着状況調査【学びのたしかめ (6月)】を受け、授業改善や学びの充実を図る。

・9月始業式の生活集会において、「そろえる実践」の全校児童への再確認を行う。

##### (iii) 学習ステップアップ月間 : (1月～3月)

・沖縄県学力到達度調査に向けた取り組み (朝自習・補習において落ち込み部分への対応)

・学年のまとめの取り組み (授業で当該学年の学習内容終了後、既習内容の確認)

・全国学力・学習状況調査に向けた取り組み (管理職・専科・学習支援員による5学年への補習指導)

・1月始業式の生活集会において、「そろえる実践」の課題の確認を行う。

○南風原町基本的な生活習慣の共通実践 : 「時を守り、場を清め、礼を正す」

【時を守る】 ・ 5分前行動 ・ 2分前着席、1分前黙想

【場を清める】 ・ 黙々清掃

【礼を正す】 ・ あいさつ運動

○本校「そろえる実践」

##### (i) 学習面

・ 学習前の準備の徹底 ・ 黙想の徹底 (2分前着席、1分前黙想)

・ 号令をそろえる ・ 呼名されたら「はい」と返事をする。

・ 話す、聞くときの約束の徹底

##### (ii) 生活面

・ 靴箱の整頓 ・ ロッカーの整頓

・ 荷物の整頓 ・ 引き出しの中の整頓

・ 黙々清掃の徹底 ・ あいさつの輪を広げよう

②規範意識・マナーの向上を図る……学校生活、家庭生活を通して徹底（生活点検）

- ・「早起き、朝ごはん、徒歩登校、あいさつ、家庭学習、早寝」を家庭と連携して確立する。
- ・他人を思いやる心，認め合う心の育成
- ・学校生活のきまりを守る態度の育成

③読書活動の充実を図る……読書をする習慣を身につける

- ・各学年で目標冊数を決め，読書活動に取り組む。

1・2年→100冊， 3・4年→80冊， 5・6年→70冊

- ・各教科における図書館等の活用を推進する。

④家庭学習の習慣化を図る

- ・「宅習ノート」を活用した自主学習の推進を図る。

⑤生活リズムを整える

- ・生活点検カードの実施（5月、9月）により、基本的な生活習慣の確立の定着を図る。  
5月、9月の評価を比較し、分析し、変容が見られたかどうか振り返る活動を取り入れる。

⑥体力の向上

- ・徒歩登校の奨励
- ・体力テストの実施
- ・体力テストの結果を受けた体力向上月間の実施（1月）
- ・泳力の向上

⑦体験活動の充実……問題発見・問題解決能力や社会性の育成

- ・「学校応援隊はえばる」を活用して多様な学習活動の展開をする。
- ・地域を教材化した授業の充実を図る。

【数値目標】

- 学年で単元計画を作成し、活用する →7割以上
- 毎時間「2分前着席・1分前黙想」ができる →8割以上
- 休み時間に次の学習の準備ができる →8割以上
- 黙々清掃ができる →8割以上
- 図書館を利用し、進んで読書している（学校評価：児童アンケート）→9割以上
- 年間読書目標冊数 →9割以上
- 毎日家庭学習ができる →9割以上
- なるべく徒歩登校をするようにしている →8割以上

### 方策3 支える【発達の支援】

#### 〈発達の支援の具体的な取り組み内容〉

「他者と関わりながら、課題の解決に向かい『問い』が生まれる授業」の土台となる互いに高め合える集団づくりに取り組む。

#### (1) 確かな児童理解

○学習に向かう集団づくりを進めるために、i-check, 生活実態アンケートなどを実施・分析・活用して、児童理解に努め、学級の人間関係づくりを行う。

○校内研修において、i-check の活用方法の研修を行う。

#### (2) 支持的な風土をつくる学級経営の充実(ガイダンスとカウンセリング)

○児童同士が自分の考えや思いなどを安心して表現できる支持的風土をつくる学級経営を行う。校内研修では、学級経営と教科指導を中心とした研修会も実施する。

○「特別の教科 道徳」の授業の充実を図り、自立心や自律性、生命を尊重する心や思いやりの心を育てる。

#### (3) 学びに向かう集団作り

○学級会などの話し合い活動を通し、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけて話し合い、意見をまとめたりして、学びに向かう集団づくりを進める。

#### 【数値目標】(学校評価：児童アンケート)

- 学校は楽しい →9割以上
- 学校には一緒に遊んだり、お話をしたりする友達がいる →9割以上
- 将来の夢や希望, なりたい職業がある →9割以上
- 自分には、よいところがある →9割以上
- 先生は、あなたのよいところを認め、気づかせてくれる →9割以上

### 方策4 見通す【学校組織マネジメント】

#### 〈学校組織マネジメントの具体的な取り組み内容〉

学力向上の具体的な到達目標を共有し、取り組みを徹底、連動していくことで、実践意欲を高め、学校全体で授業改善を推進し、児童の学力の向上を図る。

#### (1) 学校課題解決に向けた組織マネジメント機能を高める

○めざす授業像、めざす子どもの姿を共通確認し、学校全体で授業改善を推進する。

○学校行事や学校公開日を通して、学校・家庭・地域・行政との連携を図る。

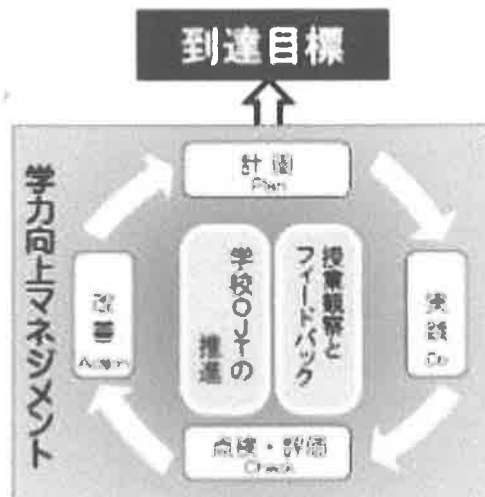
#### (2) 学校評価と関連付けたカリキュラム・マネジメント及び年間サイクルの確立

○学力向上年間サイクルに基づいて、到達目標に向けた具体的な手だてを立てて、取り組みを推進する。

○取り組みの進捗状況を学力向上推進月間や各学期ごとに評価し、課題については新たな改善策を立てて、学力向上の取り組みをマネジメントする。

#### (3) 授業改善・学校改善に向けた校内研究体制の充実

○校内研修、学年会・教科会(教材研究の時間)などの充実を図り、職員相互が学び合う職場環境づくりを行う。



## 方策5 つなぐ【学校連携・地域連携】

### 〈学校連携・地域連携の具体的な取り組み内容〉

学校における授業改善の取り組みの充実を図るために、教育行政による効果的な学校支援体制をうけて、校内の授業改善に向けての体制を整える。

#### (1) 市町村の特色を活かした施策推進による学校づくり

- 「特別の教科 道徳」の研究を推進し、命の大切さを育む道徳教育、平和教育、福祉教育、人権教育の充実を図る。
- 南風原町そろえる実践「時を守り、場を清め、礼を正す」「かすりっ子学習のきまり」を共通実践する。

#### (2) キャリア教育の視点をふまえた校種間連携強化

- 保幼小の校種間交流を図り、小中の連携・相互交流授業を行う。

#### (3) 学校・地域・家庭の互恵的関係の構築

- 「学校応援隊はえばる」を活用して、多様な学習活動を展開する。
- 学校行事、学校公開日を通して、学校・家庭・地域・行政との連携を図る。
- 毎週火曜日に読み聞かせの時間を設定し、読み聞かせボランティアによる読み聞かせを通して、本に親しませる。

## 5 主な取組内容

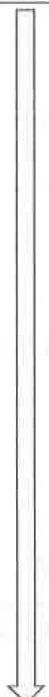
### (1) 校内研修の実施


- ①令和3年度全国学力・学習状況調査の結果と分析、考察を職員で共有し、授業改善を図る。
- ②文科省調査官招聘授業の授業資料や講話ポイントの伝達を行い、授業改善に生かす。

### (2) 学力向上推進の取り組みの公開

- ①学力向上推進の取り組み計画の説明を、南風原町学校公開日（5月）に行う。
- ②学力向上推進の実践の成果や課題を、南風原町学校公開日（2月）に行う。

学力向上年間サイクル（2022年 令和4年度）

月	学校の取組	学力向上推進室・島尻教育事務所の主な取組
(2022) 1月      2月 3月	<p><b>次年度の「学力向上年間サイクル」スタート</b></p> <p><input type="checkbox"/>冬休み明けの取り組み <b>レ・イ・ス</b>を揃える取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冬休みの宿題点検 <b>学力向上強化月間（学習ステップアップ月間）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県学習定着状況調査問題等の活用（課題のあった問題）</li> <li>当該学年の既習事項の定着の確認と補充的指導</li> <li>学習規律の徹底（再確認：三学期始業式）</li> </ul> </li> </ul> <p><input type="checkbox"/>体力向上月間（1月）</p> <p><input type="checkbox"/>体力を高める取り組み（持久走、縄跳び大会など）</p> <p><input type="checkbox"/>年度末の取り組み（まとめの学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着の確認と強化</li> </ul> <p>2月 <input type="checkbox"/>沖縄県到達度調査の実施（5、6年）</p> <p>3月 <input type="checkbox"/>沖縄県到達度調査結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果や課題の把握、結果分析の共有</li> <li>授業改善ポイントの共有と実践（課題改善）</li> <li>教科年間指導計画の見直し（時数配分等）</li> <li>当該学年学習内容終了後、まとめの学習内容の実施</li> </ul> 	<p><b>通年</b></p> <p>○学校支援訪問の実施</p>
4月   5月 6月  7月	<p><input type="checkbox"/>年度当初の取り組み <b>学力向上強化月間（学習規律徹底月間）</b>                      ・春休みの宿題点検 <b>（スタートカリキュラム取組月間）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着の確認と強化</li> <li>「そろえる実践：学習規律・生活規律」確認</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>全国学力・学習状況調査実施（自校採点・入力）4/19 国・算・理</p> <p>5月 <input type="checkbox"/>生活点検カードの取り組み（1回目）GW明け実施予定</p> <p><input type="checkbox"/>全国学力・学習状況調査結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果や課題の把握、結果分析の共有</li> <li>授業改善ポイントの共有と実践（課題のあった問題）</li> <li>教科年間指導計画の見直し（時数配分等）</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>Q-Uテスト実施（第2週）（2～6年）</p> <p><input type="checkbox"/>沖縄県学習定着状況調査【学びのたしかめ（3～5年）】</p> <p><input type="checkbox"/>リーディングテスト（6年）</p> <p>7月 <input type="checkbox"/>沖縄県学習定着状況調査【学びのたしかめ（3～5年）】の結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成果や課題の把握、結果分析の共有</li> <li>授業改善ポイントの共有と実践（課題のあった問題）</li> </ul>	<p><b>通年</b></p> <p>○学校支援訪問の実施</p> <p>※学力向上強化月間は地区学力向上推進委員会で設定</p> <p>※校長・教頭・教務主任研修会</p>
夏季休業  8月下旬	<p><input type="checkbox"/>夏休み期間中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育課程の点検／見直し ・宿題の配布（指導計画、時数配分、週時程など）</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>全国学力・学習状況調査結果（文科省公表予定）…校内研</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>客観的な分析、改善策の再検討</li> <li>成果と課題の把握 ・個人票を活用した個への支援</li> </ul>	<p>○小中理科主任研修会</p> <p>○新任学年主任研修会</p> <p>○小中英語指導力向上研修会</p> <p>○小中英語力アップ研修会</p>

<p>9月</p> <p>11月</p> <p>12月</p>	<p><input type="checkbox"/>夏休み明けの取り組み <span style="float: right;">学力向上強化月間（学習“やる気”アップ月間）</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの宿題点検</li> <li>・既習事項の定着の確認と強化</li> <li>・学習規律の徹底（再確認）</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>生活点検カードの取り組み（2回目）新学期明け実施予定</p> <p><input type="checkbox"/>全国学力・学習状況調査結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決に向けた取り組み</li> <li>・教科年間指導計画の見直し（時数配分等）</li> </ul> <p>11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善ポイントの共有と実践（課題のあった問題）</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>Q-Uテスト実施（第4週）（1年）</p> <p><input type="checkbox"/>沖縄県学習定着状況調査【学びのたしかめ（3～6年）】</p> <p>12月</p> <p><input type="checkbox"/>町標準学力調査（1・2年）</p> <p><input type="checkbox"/>沖縄県学習定着状況調査【学びのたしかめ（3～6年）】と結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果や課題の把握、結果分析の共有</li> <li>・授業改善ポイントの共有と実践（課題のあった問題）</li> <li>・次年度教科年間指導計画の検討（時数配分等）</li> </ul>	
<p>冬季 休業</p>	<p><input type="checkbox"/>冬休み期間中 <span style="float: right;">レディネスを揃える取組</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題の配布</li> </ul>	
<p>(2023) 1月</p> <p>2月</p> <p>3月</p>	<p><b>次年度の「学力向上年間サイクル」スタート</b></p> <p><input type="checkbox"/>冬休み明けの取り組み <span style="float: right;">レディネスを揃える取組</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冬休みの宿題点検 <span style="float: right;">学力向上強化月間（学習ステップアップ月間）</span></li> <li>・沖縄県学習定着状況調査問題等の活用（課題のあった問題）</li> <li>・当該学年の既習事項の定着の確認と補充的指導</li> <li>・学習規律の徹底（再確認：三学期始業式）</li> </ul> <p><input type="checkbox"/>体力向上月間（1月）</p> <p><input type="checkbox"/>体力を高める取り組み（持久走、縄跳び大会など）</p> <p><input type="checkbox"/>年度末の取り組み（まとめの学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項の定着の確認と強化</li> </ul> <p>2月</p> <p><input type="checkbox"/>沖縄県到達度調査の実施（3～6年）</p> <p>3月</p> <p><input type="checkbox"/>沖縄県到達度調査結果の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果や課題の把握、結果分析の共有</li> <li>・授業改善ポイントの共有と実践（課題改善）</li> <li>・教科年間指導計画の見直し（時数配分等）</li> <li>・当該学年学習内容終了後、まとめの学習内容の実施</li> </ul> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>	